

第4回運営委員会・世話人会議事録

10月11日（金）グランドプリンスホテル高輪 B1 階「アメジスト」17:15-18:15

参加者（順不同・敬称略）：伊佐山、佐々木、吉田、成田、山田、土田、前谷、斉田、榎本、長尾、山岸、京、佐々木、坂本、平川、富田、遠藤、石田、串山、松澤、池田、大須賀、桑井、齊藤、加藤、吉川、山田、島田、長谷川、山内、田畑
オブザーバー（企業）：ボストン、センチュリーメディカル

・庶務報告：榎本より 質問等なし

・ミニレクチャー：WallFlex と Niti-S の留置法などの違いについて（東京大学佐々木先生）
質問：Niti-S で BTS の時の CS 観察時期や 18mm スtent での可否について→5 日目以降なら？

マーキングの位置：マーキングの配置は WallFlex と大差ない。デリバリーシステムの真ん中を狭窄の中心に合わせて施行する。透視で見にくいので、長めのステントを使用したほうが安全な可能性がある。腸管へのあたりもやわらかいので WallFlex より長めを選択か。

HP にミニレクチャーの内容を掲載予定にしています。

・第3回大腸ステント安全手技研究会について 当番世話人島田先生より

5/17 の午後になりそうである。参加者は 140 名を予定。演題募集これから開始し、来年 2/15 に締切。（抄録集印刷の関係で延期しません）

研究会に際してアンケートを実施：詳細が決定したら島田先生からメールで送付しますので返信してください。

・WallFlex 前向き研究：本日で研究登録終了、全部で 516 例か。いちおう来週金曜まで開いておくので登録抜けがあればお願いします。その後に集積・分析にはいります。

BTS 長期予後：各施設の倫理員会でプロトコル変更の承認を通して長期予後（最低 3 年後）をみる。世話人会に参加した施設では全員参加予定。

研究成果の発表：登録症例の多い施設から好きな内容を選んで頂き出来るだけ多くの先生に筆頭で発表または論文をお願いします。論文や学会初回発表は 10 例以上登録の施設にはお願いできる予定。それ以外の先生には各学会・研究会の主題（オリジナルでなくていい場合）に発表して頂く。

1 位 埼玉松沢先生：短期成績の英文論文

2 位 東大吉田先生：Palliative 英文論文

3 位 名古屋第 2 山田先生：短期成績国内学会初回発表→来年の消化器内視鏡学会ワークショップ 11 に（共同演者はこれまでの当番世話人の伊佐山・斉田）

4 位 呉 桑井先生：BTS 長期予後の英文論文

これ以降はこれから調整する。また世話人 54 名全員が必ず名前が載るように事務局にて調

整する。これに関してはいちおう事務局に一任。

- ・ Niti-S 新規研究

CRC 土田さんから 明日から Niti-S 前向き研究が開始、各施設で倫理委員会に承認されてから登録を。承認されたら土田さんにメールを返信で WallFlex とは違う PW が発行されます。承認者などの書類の送付は不要。

Niti-S 使用したら全例登録を。現在のところ 55 施設参加でスタート。200 例目標で終了予定。来年の春に結果そろそろ予定か。

土田さんから WallFlex と Niti-S の登録画面の変更点について説明があり。

- ・ 研究会の今後：研究会が 2015 年の春で終了するが研究が継続するために研究会としては継続の予定。研究基盤と経済的サポートを今後検討する。

- ・ 次回世話人会は第 3 回研究会の前に行う予定

以上 文責 斉田芳久